

食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取組み

6 への協定を県内で初めて締結

「ゼロカーボンシティ」に向けた取組みの第1歩として

1 目的

循環型社会の形成を目指し、食品ロス及びプラスチックごみを減らす全市的な運動として、小売事業者、市民団体、行政の三者連携による取組みを実施し、家庭や事業所から排出される食品ロス及びプラスチックごみの削減を図ります。

2 経緯

レジ袋の排出抑制を進めるため、いわた消費者協会、市内スーパーなど15社33店舗と「レジ袋削減に向けた取組みに関する協定」を締結し、レジ袋有料化やマイバッグ持参運動などにより、協力店でのレジ袋辞退率は9割を超えるなど成果を上げてきました。

また、磐田市は令和3年6月14日に2050年までに二酸化炭素の排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

そこで、食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた新たな取組みを推進し、引き続き市民及び事業者とともに循環型社会の形成を目指し、ごみの減量・資源化を推進していきます。

3 事業者の取組み（案）

- (1) 啓発グッズの掲示やキャンペーンの実施による来店者への周知
- (2) 市が実施するごみ削減に関する調査等への協力
- (3) 各店舗の状況に応じて実施する取組み
 - ・賞味期限間近な食料品の割引販売
 - ・値引きシールキャンペーンの実施
 - ・期限切れ前商品のフードドライブへの寄付
 - ・プラスチック製品（ペットボトル・トレイ等）回収へのポイント付与

4 協定締結式

- (1) 日 時 令和3年6月30日（水）14時から
- (2) 会 場 磐田市クリーンセンター
- (3) 出席者 協定賛同店（小売事業者14社32店舗）の代表者
いわた消費者協会会長
磐田市長

担当：環境水道部ごみ対策課 TEL0538-37-4812